

昭和40年(1965)～



群馬のスポーツ ⑪ 全日本選手権に7回優勝

ほし の 星野 の 美香



尾瀬の近くの風光明媚な村片品村で昭和四〇年七月一〇日、美香はうまれたんだよ

美香さんは運動神経がいいね



星野家は卓球一家だった。父は家族のために卓球場までつくる。いれこみだった

美香はものに

なる

おもいつきり練習だ



全日本ジュニア卓球選手権県予選

中学一年生の星野美香がもと高校チャンピオンをやぶった

やっ

たーっ



片品中学に星野美香ありよ

すごいわ美香

以後高一まで五連覇というどえらい記録をつくることになる



国内では全日本選手権に七回目の優勝をかざり世界ランキングも一四位と世界の頂点に立つのも不可能ではない

美香だよ



片品村の自然が生んだ偉大なサウスポー

星野美香さん

美香さんは一九九一年千葉でひらかれた世界選手権でもすばらしい戦いをしたよ

がんばれ美香さん

昭和40(1965)年7月10日、「世界の尾瀬」の片品村に生まれ、恵まれた自然と暖かい家庭の3番目で2女に育つ。小学3年の時、兄の手ほどきで卓球に親しんだが、星野家では父、母も村内・郡内の卓球大会に出場したり、姉も後に中学・高校で県3位、インターハイにも出場、文字通りの卓球一家になっていた。それは2年後に両親が造ってくれた卓球場での猛練習にもよっている。中学1年で県高校チャンピオンを破ってその片鱗を示し、2年で全国中学大会2位。ところが3年になり同大会8位、全日本選

手権(ジュニア)ベスト8にとどまる。しかし、前橋東高に進学した後は持ち前の勝気な性格も幸いし、インタハイ2連覇、全日本選手権で初優勝、あかぎ国体団体2位、世界選手権の史上最年少代表として団体2位、ダブルスベスト8にも。青山学院大学時代は全日本学生・関東学生・全日本を各4連覇、海外遠征も20数回を数え、太陽神戸三井銀行(現さくら銀行)時代も全日本選手権の連覇を始めソウル・バルセロナ五輪で活躍。昨年10月銀行を退社し故郷に帰り、卓球への変わらぬ情熱を傾けている。



前橋東高に入った美香の活躍はすばりしかつた

関東大会全国大会一連覇

「あかぎ国体」少年の部で大活躍



東京で開催された世界選手権の史上最年少代表となり団体一位、ダブルスベスト8となり世界へデビューした



韓国でひらかれたソウルオリンピックでも世界の強豪相手にメダルまでもう一步という戦いをしたんだ



大学卒業後太陽神戸三井銀行に入社

大学のエースから実業団のエースとして活躍した

教師の道はあきらめたのね



ここで美香の卓球は全盛期をむかえる

日本チームのエースとして海外遠征すること二十数回



将来小学校の教師になりたいわ

そのため青山学院大学の文学部教育学科に入るのね